

市町村名	石垣市						
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（1）－イ	
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 スポーツ交流課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
事業内容	スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等の誘致を目的に営業活動を実施する。また、受入環境整備及び受入体制強化のため、選手等への快適な環境づくりと、歓迎装飾やキャンプとタイアップしたイベント等の賑わい創出により地域活性化へつなげる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,717	4,189	16,015	23,454	—
		(b) 予算現額	2,717	3,865	16,015	50,454	—
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 324	0	27,000	—
		(d) 繰越額	—	—	—	—	35,252
		A. 計 (b+d)	2,717	3,865	16,015	50,454	35,252
	B. 執行済額		2,093	3,171	12,907	15,202	23,278
	うち交付金充当額		1,674	2,537	10,325	12,161	18,621
	次年度繰越額		0	0	0	35,252	—
	執行率（％）(B/A)		77.0%	82.0%	80.6%	30.1%	66.0%
予算の状況の説明		増額は、芝管理機械等の購入計画を追加したことによるものである。また、繰越は同機械の納入が当初計画より遅れたことによるものである。 不用額は、芝管理機械等の入札残及び計画見直しにより一部の備品の購入を取り止めたことによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	スポーツツーリズムの推進とスポーツコンベンションの誘致を営業を通して行う	目 標	（ 3カ所 ）	（ 3カ所 ）	（ 5カ所10団体 ）	（ 誘致 ）	
		実 績	8カ所	6カ所	5カ所7団体	誘致	
	観光客数の多いキャンプは、警備員を配置し、安全性と快適性を確保し、受入環境を整備する	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	受入体制を強化の一環として、装飾等で歓迎ムードを創出する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）	
		実 績				実施	
	芝・グラウンド等管理機械の購入	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 購入 ）	
		実 績				購入	
達成状況説明	・関東地区3カ所、東北1カ所、北海道1カ所、中国地方1カ所、海外3カ所において、各種スポーツ団体へ誘致活動及びスポーツイベントのPR活動を行った。 ・受入体制強化については、プロ野球キャンプ期間中の来場者や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ中における見学者の誘導及び飛球対策に係る警備員の配置を行った。 ・受入体制の強化目的の一環としては、横断幕や歓迎用花束など13件の装飾品を作成した。 ・あかんまサッカーパークでは、グラウンドの芝刈用トラクターを新調した。						

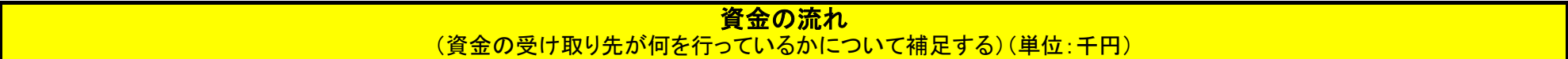
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (30年度)
	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致	目 標	()	(2団体以上)	(3団体以上)	(3団体以上)	()
		実 績		5団体	5団体	5団体	
	警備員の配置、プレハブ等施設の設置撤去	目 標	()	()	()	(配置、撤去)	()
		実 績				配置、撤去	
	プロ野球キャンプ期間を通して来場者数対前年度比	目 標	()	()	()	(3%増)	()
		実 績				11%増	
	芝・グラウンド等管理機械の購入完了	目 標	()	()	()	(6台)	()
		実 績				6台	
	【H30成果目標】 ①プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体以上 ②プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数25,000人		目 標				①5団体以上 ②25,000人
進捗状況説明		・プロスポーツキャンプにおいては、千葉ロッテマリーンズの他、中国プロサッカーチーム杭州绿城のキャンプや自転車競技では那須グラーゼンの誘致に成功。また、陸上競技においては、日本福祉大学やびわこ成蹊大学の合宿誘致を行うことができた。 ・警備員の配置やプレハブ等の設置については、安全性や快適性を考慮し適正に配置できた。 ・プロ野球キャンプ期間を通しての来場者数は、目標の対前年度比3%増を大きく上回る11%増となった。 ・芝・グラウンド等管理機器を購入し、良好な環境でのキャンプ受入等を行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・海外での誘致活動を行ったことなどにより、海外プロチームによるスポーツキャンプが増加傾向にあるが、同種目のキャンプや合宿に偏っている。 ・キャンプ期間中の来場者は増加傾向にあるが、警備員等を適正に配置することができており、大きな問題は発生していない。 ・来場者は順調に増加してきており、今後は海外からの来場者増に取り組む。 ・芝・グラウンド管理機器の導入により、キャンプを行う施設を良好に整備できたことから、国内外のプロサッカーチームのキャンプを誘致することができた。	・同種目のキャンプや合宿が多く、偏りが見受けられるため、他の種目のキャンプや合宿を受け入れるため、幅広い誘致活動を行う。 ・スポーツ選手に安全性や快適性を引き続き提供できるよう、警備員等の適正配置は常に見直しの検討を行う。 ・キャンプ日程を早期に確定させ、海外イベントでの周知を図る。 ・芝・グラウンド等の管理を適切に行い、継続してプロサッカーチームのキャンプ誘致を行う。
今後の取り組み方針		
・他の種目のキャンプや合宿の受け入れ環境や施設利用状況等を勘案し、今後も継続して海外誘致や県外誘致に取り組み、「スポーツキャンプ地としての定着」を図る。 ・来場者等に応じて警備員等を適正に配置し、スポーツ選手がより安全で快適なキャンプ及び合宿が行えるよう取り組む。 ・キャンプ日程を早期に確定させて情報を発信することで、ファン等が計画的に本市へ訪れられるよう取り組む。 ・引き続きキャンプを行う施設を適切に管理し、良好な練習環境を確保することで、プロサッカーキャンプの継続誘致を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－②	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ		
担当部課名	建設部 施設管理課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	訪れて良かった「いしがき」観光地プロジェクト Ⅲ－1－（1）		
事業内容	観光客の受入れ強化を図るため、観光施設を整備、改修を行う。多くの観光客が観光施設を利用するが施設の経年劣化が激しいため早急に改修整備し、併せて施設緑化も含めて魅力ある観光施設整備を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度（ 年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000	－	30,000	－		
		(b) 予算現額	12,000	－	67,040	－		
		(c) 増減額 (b-a)	0	－	37,040	－		
		(d) 繰越額	－	8,566	－	45,340		
		A. 計 (b+d)	12,000	8,566	67,040	45,340		
	B. 執行済額		3,434	8,014	21,702	43,360		
	うち交付金充当額		2,747	6,411	17,360	34,689		
	次年度繰越額		8,566	－	45,340	－		
	執行率（％）(B/A)		28.6%	93.6%	32.4%	95.6%		
	予算の状況の説明		玉取崎展望台の駐車場整備等を行うため増額した。国立公園内の工事となることから関係機関との調整に時間を要し、繰越となった。不用額は、入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	29年度	
	観光施設等の設計及び改修整備	目 標	（ 調査測量実施設計 ）	（ 設計及び工事 ）	（ ）	（ ）		
		実 績	調査測量実施設計	設計及び工事				
達成状況説明	底地海水浴場の設計業務及びネット工事、玉取崎展望台駐車場の整備工事を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（ 年度）
	観光施設等の改修整備	目 標	（ ）	（ 2箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		2箇所				
	観光施設等の基本実施設計	目 標	（ ）	（ 1箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		1箇所				
	進捗状況説明	観光施設の改修を進めるため、底地海水浴場の海洋危険生物侵入防止ネット工事、玉取崎展望台駐車場の整備工事を行った。また、底地海水浴場施設公園の設計業務及び便所・シャワー室改修工事の設計業務を行った。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	底地海水浴場、玉取崎展望台とも国立公園内にあるため、自然保護法に基づき環境省との調整が必要である。また、底地海水浴場基本設計については地元公民館より意見聴取を行い計画を進める必要がある。	今後の玉取崎展望台の整備についても環境省と早期に事前調整を行う。また、底地海水浴場については、地元公民館へ複数の計画案を提示し意見集約を図る。
今後の取り組み方針		
環境省と早期の協議完了を図り、玉取崎展望台の便所の増設を行う。また、底地海水浴場施設公園の実施設計、便所及びシャワー室の再整備については、地元公民館の集約した意見を踏まえて取り組んでいく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>65,061</td><td>65,061</td><td>52,049</td><td>13,012</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 65,061千円 工事費 54,400千円 (有)清風開発工業 2,613千円 (有)東洋工業 51,787千円 委託費 10,661千円 (有)大祐土木設計 8,199千円 洲鎌設計株式会社 2,462千円 底地海水浴場海洋危険生物侵入防止ネット工事 玉取崎展望台駐車場整備工事 底地海水浴場施設公園基本設計業務委託 底地海水浴場便所及びシャワー室改修工事設計業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	65,061	65,061	52,049	13,012	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
65,061	65,061	52,049	13,012	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途は、事業目的達成の観点から必要なのか等について額の確定時に検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	平久保半島エコロード整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア				
				国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施 （予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、市道平久保半島東線周辺に位置する河川の水生生物に係る情報を収集し、エコロード整備に対する留意事項の検討を行う。また、車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード周辺状況の撮影を行う。また、平成26年度に策定した「平久保半島エコロード基本構想・基本計画」に基づき、当該道路の一部において道路整備実施設計を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（　年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	28年度（繰越）	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	7,000	－	7,362	12,690	－	
		(b) 予算現額	7,000	－	7,362	12,690	－	
		(c) 増減額 (b-a)	0	－	0	0	－	
		(d) 繰越額	－	6,939	－	－	6,011	
		A. 計 (b+d)	7,000	6,939	7,020	12,690	6,011	
	B. 執行済額		61	6,328	7,020	6,679	6,011	
	うち交付金充当額		49	5,062	5,889	5,343	4,809	
	次年度繰越額		6,939	－	0	6,011	－	
	執行率（％）(B/A)		0.9%	91.2%	100.0%	53%	100%	
	予算の状況の説明		道路整備実施設計業務において各関係機関との協議・調整等に不測の日数を要したため繰越となった。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	エコロード周辺に位置する水生生物の情報収集	目　標	（　　実施　　）	（　　　　　）			（　　　　　）	
		実　績	実施					
	車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード周辺状況の撮影	目　標	（　　実施　　）	（　　　　　）			（　　　　　）	
		実績	実施					
	道路整備実施設計委託	目　標	（　　実施　　）	（　　　　　）			（　　　　　）	
		実　績	実施					
	達成状況説明	・水生生物の情報収集を行った。 ・車載カメラ及びドローン搭載カメラにより、周辺状況の撮影を行った。 ・道路整備実施設計業務委託を行った。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （　年度）	28年度	29年度	30年度
自然環境情報図の作成（H27年度成果へ追記）		目　標	（　　　　　）	（　完了　）				
		実　績		完了				
車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード撮影動画の作成を行い、エコロードの状況確認及び観光客への魅力アピールの材料とする		目　標	（　　　　　）	（　完了　）				
		実績		完了				
道路整備実施設計完了		目　標	（　　　　　）	（　完了　）				
		実　績		完了				
【H32成果目標】 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン＆ウォーク大会」への参加者数810人		目　標						参加者数810人
進捗状況説明		・水生生物の情報収集により、PRリーフレットを作成した。 ・車載カメラ及びドローン搭載カメラによる撮影で、PR用動画を作成した。 ・道路整備実施設計書が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・エコロード周辺には、希少種や動植物が多く存在することから、事業の実施にあたっては、生態系に影響を与えないように留意する必要がある。 ・道路整備工事の実施設計に際し、関係機関との調整により、当初委託期間内に業務を終える事が出来なかった。	・デッドリスト等を活用することで、希少種などの早期把握に努める。 ・管理道路の整備については関係機関への諸手続を速やかに済ませていく。
今後の取り組み方針		
・デッドリスト等の活用による希少種などの早期把握や複数人態勢で事業を実施することで、生態系への影響を防ぎ円滑に進めていく。 ・管理道路の整備については関係機関への諸手続を速やかに済ませ早期実現を図り、作成したリーフレットやPR動画を活用し、平久保半島エコロードの魅力を伝える。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>12,690</td><td>12,690</td><td>10,152</td><td>2,538</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 12,690千円 委託費 12,690千円 (株)環境プラン 8,586千円 (株)南西環境研究所 4,104千円 平成28平久保半島エコロード実施設計業務委託(その1) 平成28年度平久保半島エコロード整備調査事業に係る環境基礎調査業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,690	12,690	10,152	2,538	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,690	12,690	10,152	2,538	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額がなく、適正な規模であったと考えている。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	石垣市風景計画改訂検討業務			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施 (予定)年度	平成27～28年度		観光客の受入体制の整備		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な石垣島の風景を保全・創出するために、社会情勢の変化を踏まえ、石垣市風景計画の改訂を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ 年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	9,845	7,000	-			
		(b) 予算現額	9,845	5,379	-			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,621	-			
		(d) 繰越額	-	-	5,379			
		A. 計 (b+d)	9,845	5,379	5,379			
	B. 執行済額		7,876	0	4,690			
	うち交付金充当額		0	0	3,752			
	次年度繰越額		0	5,379	-			
	執行率（％）(B/A)		80.0%	0.0%	87.2%			
予算の状況の説明		減額は入札残によるものである。 計画書の作成にあたり、関係機関との調整に不測の時間を要したことから繰越となった。 執行残は印刷等の成果品の納品が一部業務内容の変更によって困難になったためのもの。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
			実 績	実施				
達成状況説明	石垣市風景計画改訂検討業務の委託を行い、市民等の意見把握のために意見交換会やアンケート調査を実施した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
			実 績	完了				
	【H30成果目標】 本事業の調査結果を基に、魅力的な風景の保全・創出を目的とした事業の実施につなげる。		目 標					魅力的な風景の保全・創出につなげる
	進捗状況説明	意見交換会やアンケート調査の成果を基に、石垣市風景計画改訂案を作成した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新空港開港による入域観光客数の大幅な増加並びに東日本大震災による防災意識の高まりによる社会情勢の変化を踏まえ、関係団体との意見交換や市民へのアンケート等を行うことで現状を把握し、改訂案へ反映させていく必要がある。	より良い風景づくりに向けたガイドライン等の検討を行う。
今後の取り組み方針		
改訂案を基に、より良好な景観の創出が行えるように努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,690	4,690	3,752	938	0

石垣市
4,690千円

→

委託費
4,690千円

→

(株)国建
4,690千円

(石垣市風景計画改訂検討業務委託)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○減額は入札残によるものであり、予算規模も妥当であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－⑦	旧石垣空港跡地環境影響評価事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－（7）－イ				
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成28～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	歩いて暮らせる環境づくりの推進			
事業内容	石垣市は旧石垣空港跡地への土地区画整理事業導入にあたり、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施し、円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度（　年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	－				
		(b) 予算現額	3,014	－				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,986	－				
		(d) 繰越額	－	3,014				
		A. 計 (b+d)	3,014	3,014				
	B. 執行済額		0	3,013				
	うち交付金充当額		0	2,410				
	次年度繰越額		3,014	－				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	100.0%				
予算の状況の説明		減額は入札残によるものである。また、配慮書の作成中に沖縄県による不発弾探査が実施されたことから、再調査及び協議が必要になり、不測の日数を要したため繰越となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	配慮書、方法書、現況調査、準備書、評価書手続を行うことにより、その後の円滑な都市計画決定、事業認可、事業実施に図ることができ、跡地の早期利用につながる。		目　標	（　配慮書手続の実施　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	
			実　績	配慮書手続の実施				
達成状況説明		沖縄県環境影響評価条例に基づく、計画段階の環境配慮書配慮書作成業務の委託を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（　年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（　年度）
	【配慮書手続の完了】 ・配慮書作成 ・住民説明会、公告・縦覧 ・住民、沖縄県、関係機関の意見聴取 ・県との調整 ・公表		目　標	（　　　　　）	（　完了　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）
			実　績		完了			
	進捗状況説明		沖縄県環境影響評価条例に基づき作成した配慮書に関し、住民説明会や公告・縦覧などを行い手続きが完了した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	旧石垣空港跡地には、土地区画整理事業導入にあたり実施している本事業の他に、「新県立八重山病院建設事業」、「県道石垣空港線道路整備事業」、「旧空港跡地線道路整備事業」、「石垣市新庁舎建設推進事業」といった様々な事業が入っていることから、各事業との連携・協議を十分に行い、円滑な事業実施を図る必要がある。	旧石垣空港跡地利用連絡協議会等を活用し、関係機関との協議・連携を密に行う。
今後の取り組み方針		
本事業において配慮書、方法書、現況調査、準備書、評価書手続を実施し、旧空港跡地土地区画整理事業導入につなげ、旧空港跡地利用を円滑に行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
石垣市 3,013千円 委託費 3,013千円 株式会社EAC 3,013千円 旧空港跡地土地区画整理事業に係る環境影響評価配慮書作成業務委託 <table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,013</td><td>3,013</td><td>2,410</td><td>603</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,013	3,013	2,410	603	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,013	3,013	2,410	603	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○減額は入札残によるものであることから、予算規模については、適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑩	新港地区国際埠頭整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（1）－イ			
					人流・物流を支える港湾の整備			
担当部課名	建設部 港湾課	事業実施 （予定）年度	平成28～29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	石垣港新港地区（南ぬ浜町）において整備中の大型クルーズ船バースの供用に伴い、外航クルーズ船寄港に対応するため、「海上における人命の安全のための国際条約」（通称：SOLAS条約）に基いた施設整備（照明・監視カメラ・フェンス・ゲート等）を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ 年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000	—				
		(b) 予算現額	18,090	—				
		(c) 増減額（b-a）	▲ 1,910	—				
		(d) 繰越額	—	18,090				
		A. 計（b+d）	18,090	18,090				
	B. 執行済額		0	18,090				
	うち交付金充当額		0	14,472				
	次年度繰越額		18,090	—				
	執行率（％）（B/A）		0.0%	100.0%				
	予算の状況の説明		減額は入札残によるものである。また、設計業務において関係機関との調整や、既存施設に用いているSOLAS条約に係る基準との整合性確認等に不測の日数を要したため、委託費にかかる18,090千円を繰り越した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	基本設計及び実施設計の検討	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
	保安規定の検討	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
	達成 状況 説明	関係機関や条約との整合性等を調整し、基本設計、実施設計、保安規定の策定を実施した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
	基本設計及び実施設計の完了	目 標	（ 0 ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	保安規定の策定	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	【H30成果目標】 新バースへの外航クルーズ船寄港回数		目 標					108回
	進捗 状況 説明	基本設計、実施設計、保安規定の策定が完了し、施設整備工事を発注する準備が整った。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	外航クルーズを取り巻く環境は日に日に変化しており、乗客のニーズや交通機関からの要望等を踏まえて、条約の範囲内で施設を整備する必要がある。	住民のニーズや交通機関からの要望等を踏まえつつ、クルーズ船の円滑な寄港に向けて整備する。
今後の取り組み方針		
当該事業の成果品を元に、市内の工事需要の動向を勘案して円滑に施設整備を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,090	18,090	14,472	3,618	0

石垣市
18,090千円

委託費
18,090千円

(株)玉野総合コンサルタント
沖縄事務所
18,090千円

石垣港新港地区国際埠頭
保安規程等策定業務委託

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内の複数者に対し、当該事業の適正に関するヒアリングを行った後に決定した。 ○減額は入札残であり、適正な規模であったと考えている。 ○事業目的に即して必要なものであり、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市								
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	4－⑧	食文化発信事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－（4）－エ				
					文化の発信・交流				
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施 （予定）年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（7）				
事業内容	石垣島の食文化を伝承・発信するために、一般の市民が島由来の食材を活用した「家庭料理」を提供する場を創出するとともに、地元食材を活用した新たなレシピの開発を行う。								
効果発現年度	■ 当年度　　□ 後年度（　年度）								
実施方法	□ 直接実施　　■ 委託　　□ 補助　　□ 負担　　□ その他（　　）								
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000	－					
		(b) 予算現額	20,000	－					
		(c) 増減額 (b-a)	0	－					
		(d) 繰越額	－	20,000					
		A. 計 (b+d)	20,000	20,000					
	B. 執行済額		0	9,999					
	うち交付金充当額		0	7,999					
	次年度繰越額		20,000	－					
	執行率（％）(B/A)		0.0%	50.0%					
	予算の状況の説明		拠点整備を予定していた施設を管理する関係者との調整に時間を要したため、繰越を行った。結果的に当該施設における事業実施が困難となったため、レシピ開発委託業務のみの事業実施となり、不用額が生じた。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況						
				28年度	29年度	30年度	31年度		
	活動拠点整備および運営	目　標	（　整備・運営　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）			
		実　績	未実施						
	島由来の食材を活用した新たなレシピの開発	目　標	（　実施　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）			
		実　績	実施						
	達成 状況 説明	活動拠点となる予定であった施設は、管理者との調整がつかず、整備することが出来なかったが、様々な島由来の食材を活用した新たなレシピの開発により、食材の新たな活用法を広めることができた。							
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （　年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （　年度）
		営業日数	目　標	（　　　　　）	（　60日以上　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	
			実　績		0日				
来場者数		目　標	（　　　　　）	（　1,800人以上　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）		
		実　績		0人					
レシピ開発数		目　標	（　　　　　）	（　5以上　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）		
		実　績		12					
進捗 状況 説明		拠点整備が出来なかったことから、営業日数及び来場者数は0となってしまったが、島由来の食材を活用した新たなレシピを12種類開発し、食材の新たな活用法や地元食材の魅力、石垣市の食文化を広めることができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	レシピ開発に関しては、地元食材の調査・研究を踏まえて、開発業務に取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。	開発したレシピをより多くの人が目にする機会を増やすことにより、石垣市の食文化をさらに広める。
今後の取り組み方針		
一般家庭や店舗、料理教室や食文化に関する講習会等でのレシピ活用を促し、レシピを通じて地元食材および食文化に関する情報発信を継続していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
9,999	9,999	7,999	2,000	0

石垣市
9,999千円

委託料
9,999千円

株式会社ノイズ・バリュー社
9,999千円

石垣島の地元食材を活用したレシピ
開発業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定は公募型プロポーザルにて実施しており、妥当であったと考えている。 ○拠点整備が実施できなかったことにより不用額が生じたが、その他については妥当であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5－⑥	島野菜・ハーブの生産・加工・販売推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（7）－ア				
担当部課名	農林水産部　農政経済課	事業実施（予定）年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備			
事業内容	Ⅲ－1－（6）							
事業内容	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規商品開発や販路確保・拡大に向けた環境整備と体制の構築を将来的に目指すことを目的に、最も基本となる生産、加工、流通の現況の把握を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（　年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,662	－				
		(b) 予算現額	9,504	－				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 158	－				
		(d) 繰越額	－	9,504				
		A. 計 (b+d)	9,504	9,504				
	B. 執行済額		0	9,504				
	うち交付金充当額		0	7,603				
	次年度繰越額		9,504	－				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	100.0%				
予算の状況の説明		対象農家からの情報収集の日程調整に時間を要し繰越となったが、業務内容を当初計画通り執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	生産状況及び流通経路調査の実施		目　標	（　　実施　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	
			実　績	実施				
達成状況説明	本市で生産される島野菜及びハーブに関し、生産者情報、圃場位置情報、生産品目・生産方式（慣行、有機JAS、オーガニックなど）・生産量・作付面積・流通経路・販売先・出荷量、出荷荷姿、出荷時期などの実態調査を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（　年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（　年度）
	生産状況及び流通経路調査の完了		目　標	（　　　　　）	（　完了　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）
			実　績		完了			
	【H30成果目標】 野菜・ハーブの生産者戸数		目　標					84戸
	進捗状況説明	島野菜やハーブに関する実態調査結果の電子データ化（データベース化）を行うとともに、管理及び運営を担当する組織体制を構築した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	島野菜やハーブの生産農家が、出荷量などを把握していないケースがあった。	島野菜やハーブの振興のためには、現状の生産体制などを確認することが必要であるため、生産農家に対して実態把握のためのフォローを行う。
今後の取り組み方針		
本調査票報告書の基礎データを基に、島野菜・ハーブ振興プラン（仮称）を策定し、生産者、JA、卸業者、加工・販売、流通、飲食関係者が共通認識のもと、本市の農水産物の強み、離島ならではの弱み等を棚卸的に議論し、一体となった振興策を取りまとめる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対 象外経 費</td></tr><tr><td>9,504</td><td>9,504</td><td>7,603</td><td>1,901</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対 象外経 費	9,504	9,504	7,603	1,901	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対 象外経 費										
9,504	9,504	7,603	1,901	0										
石垣市 9,504千円 委託費 9,504千円 (コンソーシアム) ・(株) 玉野総合コンサルタント沖縄事務所 ・(有) 産創研 ・(株) 石垣市経済振興公社 委託費 9,504千円														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、業務内容に応じて選定された事業者との随意契約であり、適切であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												